

常任委員会のQ&A

総務委員会

開会日 9月27日(木)・10月4日(木)
案件 議案5件・報告5件等

●池袋駅東口駅前公園横自転車駐車場(仮称)整備工事委託契約の一部の変更について

支障コンクリート撤去はやむを得ないが、駐輪場の勾配が急で利用しにくいのではないかと、今後検討したい。

●平成24年度豊島区一般会計補正予算(第2号)

高齢者の見守り訪問事業は行政情報公開・個人情報保護審議会で、個人情報の取扱いが問題とされたがどうするのか。
審議会の意見を踏まえ、委託先に提供する情報、委託先が収集する情報の範囲を限定する。

区民厚生委員会

開会日 9月27日(木)
案件 議案3件・報告5件

●平成24年度豊島区国民健康保険事業会計補正予算(第1号)

償還金として、国への返還が約4億3千万円ある。当該年度における経過はどうかか。
区が国に申請した46億円余に対し50億円交付され、後に確定する金額との差額を返還する。

●平成24年度豊島区介護保険事業会計補正予算(第1号)

グループホーム開設時に補助金が出るが、対象と認知症グループホームの状況は。
今年度該当する施設が、認知症グループホーム3か所、年度末で、12か所の17ユニット140名を想定している。

都市整備委員会

開会日 9月28日(金)・10月5日(金)
案件 議案1件・請願1件・報告5件等

●長崎5丁目立ハウス跡地に194戸賃貸ワンルームマンションを建設する事に対し、住民の訴えを極力取り上げるよう施工主に働きかけて頂くことについての請願

プライバシーの問題やごみ出しのルール、自転車置き場の台数、車の駐車スペース等要望の仕方や、調停の仕方について住民にアドバイスしてほしい。
要望や調停の仕方など地域住民からの相談には細かなことでも対応したい。また、事業者に対し、冷静な話し合いを行うよう指導する。

子ども文教委員会

開会日 9月28日(金)・10月5日(金)
案件 議案1件・報告15件等

●豊島区保育の実施及び費用の徴収に関する条例の一部を改正する条例について

財政状況が厳しい中での改正だが、目的は値上げによる財政効果か。
一番の目的は、所得に応じた利用者間の保育料負担の公平化である。

財政効果は年間3千800万円とのことだが、増収分による施策は。
待機児童対策のために平成26年まで行われている、既存保育園の改修等の費用に組み込まれる。

決算特別委員会

9月21日の本会議にて、平成23年度一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計の4会計決算を審査するため、18名の委員からなる決算特別委員会を設置しました。

7日間にわたる質疑を行い、最終日の10月25日には、会議にご意見表明(要旨は8面)を行った後、採決を行った結果、いずれも賛成多数で認定することとしました。以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

総務費

●池袋駅周辺混乱防止対策事業について

東日本大震災の際に、池袋駅周辺混乱防止対策協議会による活動、訓練はいかされたのか。
区と各事業者との連携がうまく取れなかったため、対策活動拠点を立ち上げての活動は行えなかった。一方、各事業所が自主的に帰宅困難者を受け入れ、きめ細かな対応をしていた点については成果と考える。

●池袋駅周辺混乱防止対策事業について

対策活動拠点の資機材等の購入、帰宅困難者用の水の購入、情報通信訓練等を実施した。
●減災対策器具設置事業について

事業内容と今年度の状況は。
高齢者等に対し家具の固定、住宅用火災警報器の設置等を実施。今年度は補正予算を計上し実施中だが、執行状況を見極め今後の必要性を判断する。

●繁華街対策事業について

生活安全条例改正により客引き、路上スカウト等の取締りが強化されたが改正後の状況は。
改正後半年だが、客引きに

福祉費

●生活保護費について

受給者は増加傾向にあるが、支援策による就労率の向上は。
就労支援事業により198名が就労。また、就労経験の無い方を対象とした就労意欲喚起事業により5名が就労した。

●医療扶助費の増大について、過剰診療の発見・是正はどのようになっているか。

電子レポート(診療報酬明細書)で頻回受診や過剰投薬を委託業者が点検し、ケースワーカーが本人に確認、指導を行う。

衛生費

●予防接種について

ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンは、過去の実績から、もっと積極的な予算見込みが必要ではなかったか。
いずれも開始から間もなく、前年度の総額が出る前に予算を組んだ。正確な見込みが出来ず、流転用をして予算額を増やした。

●在宅医療の推進について

区が進めてきた在宅医療の取組みは。

●在宅医療連携推進会議という会議体を設置し、医療・介護・看護の連携や、人材育成、相談窓口の整備を進めている。

清掃環境費

●区役所における節電効果について

昨年は、夏場の節電対策として、大きな目標を挙げて取り組んだが夏場の削減率は。
●昨年、7月から9月を夏季節電期間とし、区関連施設で15%以上の節電を目標に取り組み22・3%の節電を達成した。

都市整備費

●大塚駅周辺整備事業について

JR大塚駅から都電大塚駅前までの通路には屋根を設けるのか。
●南口の自由通路と、都電停留所間の屋根になる。駅ビルに面しては、JR東日本で、駅ビルから都電の停留所までは、広場整備の中で屋根を設置する方向で進めている。

土木費

●南池袋公園整備事業について

南池袋公園の自転車駐車場の建設が進んでいるが、今後の予定は。
●南池袋公園地下1階部分に自転車庫を1千200台程度収容できる駐輪場を、来年度末までに整備する予定。

文化商工費

●中小企業の支援について

資金繰りが厳しい企業に対する区の融資制度の実績は。
●平成23年度の件数は73件で前年比約11%増。あっせん金額は38億2千372万円で約20%増。

就職支援事業について

●現状ではどのようなことをやっているのか。
●主にはハローワークとの連携による合同面接会や就職セミナー、近隣区との情報交換や広報掲載等を行っている。今年度は、人材を募集している企業と豊島区が連携し、区独自でセミナーと合同面接会を行った。

教育費

●学校司書の配置について

●どのような成果があったか。
●専門性を活用したバランスのよい選書、計画的な廃棄ができた。調べ学習のためには適宜適切に図書を紹介できることが重要。インターネット検索ではなく確かな情報として図書を活用する学習活動を充実させたい。

●今後、司書を全校に配置するための財政措置はされるのか。
●最大の成果を外部に発信し、措置されるよう努力する。

国民健康保険事業会計

●コンビニでの保険料収納率はどのくらい向上したのか。
●22年度の24・7%から23年度は26・1%になった。

後期高齢者医療事業会計

●保険料は年額いくら値上げになったのか。
●4月から一人当たり平均8千731円増となったが、値上げ幅を抑えるため軽減策を講じた。

介護保険事業会計

●介護予防という観点で実施している取組みは。
●予防事業として、平成18年度から運動や読み書きの事業等を実施している。